

第10回グリーンジョブ研修フクシマ開催！



10月1日から2日間、福島県浜通り地域において「グリーンジョブ研修フクシマ」を開催しました。泉駅から小名浜石炭・石油施設を見学し、常磐線と日本のエネルギーについて学習しました。「コンセントの先にある、使っている電気はどこから来ているか」の問題提起を受け、地域の歴史とエネルギーについて深掘りしました。富岡町のアーカイブミュージアムでは、参加者自身にとっての3・11を振り返り、浪江町へ向かう途中では「復興の今」を目の当たりにしました。

2日目は、富岡町でワインを通じたまちづくりに取り組む「とみおかワイナリー」の遠藤秀文代表から「原発被災地域における課題と挑戦」と題し、「これまでの歩みとワインを通じた100年先の地域づくり」について講演をいただきました。

東日本大震災から15年が経過し、多くの参加者が「この記憶や学びを風化させてはならない」と強く感じています。世界に例を見ない地震・津波・原子力災害という複合災害は、現代社会が抱えるさまざまな課題が浮き彫りになりました。

**JTSUは地域の皆さんと共に、課題に向き合い課題解決に向けて、
“共事者”として一歩ずつ復興と地域づくりに取り組んでいきます！**